

# カロール・シマノフスキ セミナー

2023年、第2回カロール・シマノフスキ国際音楽コンクールの開催に向けて（日本語訳付き）  
会場：駐日ポーランド共和国大使館 多目的ホール 日時：12月8日（木）、15時開会

## プログラム

「カロール・シマノフスキ。ショパンの次のポーランドの最も優れた作曲家の1人？」講演（45分）  
ダニエル・チヒ ポーランド音楽出版社 社長・編集長

2023年、第2回カロール・シマノフスキ国際音楽コンクールに向けて（25分）  
エヴァ・ボグシュ＝ムール 第2回カロール・シマノフスキ国際音楽コンクール 主催代表

ポーランド南部の都市カトヴィツェで2023年9月に第2回カロール・シマノフスキ国際音楽コンクールの演奏部門（ピアノ、ヴァイオリン、声楽、弦楽四重奏）が開催されます。

このコンクールはシマノフスキの音楽をより多くの人に知ってもらうことを主要目的とし、名誉審査員には世界的指揮者のサイモン・ラトルが参加しています。課題曲にはもちろんシマノフスキの作品が含まれていますが、例えばピアノ部門ではベートーヴェンやショパンから近現代の作品までが含まれています。演奏部門への応募受付は、2022年11月1日～2023年1月31日の期間に行います。

<https://szymanowski-competition.com>

《オール・カロール・シマノフスキ》ピアノ リサイタル（30分）

出演：イグナツ・リシェツキ

曲目：

Mazurek op. 50 nr 2 (dedykowany Rubinsteinowi)

マズルカ 作品50第2番（アルトゥール・ルービンシュタインに捧げる）

Etiuda b- moll op. 4 nr 3

練習曲変ロ短調作品4第3番

Mazurek op. 50 nr 4 (dedykowany Rubinsteinowi)

マズルカ作品50第4番（アルトゥール・ルービンシュタインに捧げる）

Mazurek op. 50 nr 13 (dedykowane Iwaszkiewiczom)

マズルカ作品50第13番（イヴァシュキェヴィチに捧げる）

Mazurek op. 50 nr 16 (dedykowane Iwaszkiewiczom)

マズルカ作品50第16番（イヴァシュキェヴィチに捧げる）

Preludium es- moll op. 1 nr 8

前奏曲 変ホ短調作品1第8番

Wariacje b-moll op. 3 (dedykowane Rubinsteinowi)

変奏曲 変ロ短調 作品（アルトゥール・ルービンシュタインに捧げる）

講演終了後にワインやお飲み物のご用意がありますのでぜひご参加ください。

## 出演者のプロフィール



### ダニエル・チヒ (Daniel Cichy)

ポーランド音楽出版社 (PWM) ディレクター・編集長。音楽学者。音楽評論家。ポーランド・クラクフのヤギェロン大学、ドイツ・ハイデルベルクのルブレヒト・カール大学で音楽学を学ぶ。ヤギェロン大学で博士号取得。2013年、ポーランド音楽出版社の編集長に就任。17年には編集長兼任のままディレクターに就任した。18年、ポーランド独立回復100周年記念事業の一環として企画された「独立100年の音楽100選」の実行責任者を務める。  
[www.pwm.com.pl](http://www.pwm.com.pl)



### エヴァ・bogシュ＝ムール (Ewa Bogusz-Moore)

チェロ奏者。文化企画マネージャー。2018年、ポーランド国立放送交響楽団 (NOSPR) の楽団長に就任。文化マネジメントの分野でロンドン大学を卒業。Sounds New Contemporary Music Festivalの一環として実施された国際作曲プロジェクトのコーディネーター。2009年から2010年にかけて在ロンドンポーランド広報文化センター員。2010年からアダム・ミツキェヴィッチ・インスティテュート副所長。2012年から2013年にかけてヴィトルド・ルトスワフスキ記念年の企画のコーディネーター。2012年には I,CULTUREオーケストラのマネージャーにも就任。  
[www.nospr.org.pl](http://www.nospr.org.pl)



### イグナツ・リシェツキ (Ignaz Lisiecki)

国立ショパン音楽院を首席で卒業。ポーランド文化省、クレスセンデム・エスト・ポロニア財団、ドイツ DAAD、日本政府 (文部科学省) 奨学生として、ハノーファー音楽演劇大学大学院 (ピアノ)、東京芸術大学大学院 (指揮科) にて研鑽。ポーランド主要都市でのソロ活動の他、コンツェルトハウス・ベルリン弦楽四重奏団 (2016)、チェロの巨匠 D. ゲリンガスと共演を重ねる。ソリストとして飯森範親/オルシュティン・フィル、高関健/ルブリン・フィル他と共演。日本では、ショパン生誕200年記念ツアー (2010)、東京オペラシティ (2012)、東京文化会館 (2015) のほか、福岡、大阪、名古屋、横浜等でリサイタル。九州響 (2013)、東京フィル (2016) ほかと共演。ヴァイオリニスト澤和樹とのデュオで「題名のない音楽会」に出演。ポーランド音楽出版社、全音音楽出版社との共同プロジェクト「ショパンの音楽とポーランドのピアノ〜レクチャー&コンサート」(2019) で演奏。2022年京都市交響楽団のメンバーと共にウクライナ支援のチャリティコンサート。ヘンドリヒ/「グリプトパリオミヤ」(2018, すみだトリフォニーホール)、ヒジンスキ/「反射-第8番」(2021, 横浜ひまわりの郷ホール)、クレンティ/ダビデの星 (2022, ショパン ビレッジ フェスティバル in 砥部) など現代音楽作品の世界初演も多い。録音に、『ブラムスへのオマージュ』(DUX)、『SWAN SONGS (白鳥の歌)』(SONY MUSIC, POLAND) がある。

Twitter : @szymanowskiprol

主催：ポーランド国立放送交響楽団 (NOSPR)

協力：ポーランド広報文化センター、ポーランド音楽出版社 (PWM edition)

後援：日本シマノフスキ協会

